



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 名

上場会社名 レシップホールディングス株式会社  
コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 芳典

TEL 058-323-7647

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,917	△9.3	△391	—	△385	—	△307	—
23年3月期第3四半期	8,724	△3.3	△382	—	△356	—	△291	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △329百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △260百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△48.17	—
23年3月期第3四半期	△45.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	9,183	4,821	52.5	754.50
23年3月期	9,698	5,275	54.4	825.60

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,821百万円 23年3月期 5,275百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	11.5	150	23.8	160	3.3	77	64.2	12.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) レシップエスエルピー株式会社、除外 1社 (社名)

詳細は添付資料P3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	6,399,100 株	23年3月期	6,399,100 株
24年3月期3Q	8,934 株	23年3月期	8,797 株
24年3月期3Q	6,390,270 株	23年3月期3Q	6,390,363 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の作成時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要により一部の地域や業種においては企業活動が活発化しておりますものの、復興政策や財政再建に向けた将来の負担増に対する警戒感から、個人消費は弱く、企業もデフレや外需の景気停滞等により設備投資を見合わせる傾向にあるなど、非常に先行き不透明感の強い状況で推移いたしました。

当社グループにおきましても、S&D事業においては、節電・省エネ意識の高まりを背景にLED電源や蛍光灯型LED灯具の販売が好調に推移したことにより、収益は大幅に改善いたしました。また、産業機器事業においても、各製品市場において震災後の需要が早期に回復したことにより堅調に推移いたしました。しかしながら輸送機器事業においては、国内のバス事業者様を中心に政治経済の情勢不安による設備投資への慎重な姿勢が顕著に見られたことにより、バス市場向け製品の販売が大きく落ち込むこととなり、グループ全体の収益を押し下げる要因となりました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高79億17百万円（前年同期比9.3%減）、営業損失3億91百万円（前年同期は3億82百万円の営業損失）、経常損失3億85百万円（前年同期は3億56百万円の経常損失）、四半期純損失3億7百万円（前年同期は2億91百万円の四半期純損失）となりました。

なお当四半期連結累計期間より、北米市場における輸送機器ビジネスの拡大に伴い、同市場向け製品の製造・販売を行う米国子会社LEICIP INC.を連結対象としております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (輸送機器事業)

当事業の売上高は、前年同期比26.2%減の42億4百万円、営業損失は4億36百万円（前年同期は1億22百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場向け製品が前年同期比37.3%減の27億68百万円、鉄道市場向け製品が前年同期比12.3%増の9億23百万円、自動車市場向け製品が前年同期比11.5%増の5億12百万円となりました。

主力のバス市場向け製品につきましては、北米向けのバス用乗り継ぎ発券機や、シンガポール向けのLED式行先表示器などの納入により海外向け売上高は増加いたしました。国内市場においては運賃箱やバス用ICカードシステムなどの運賃収受システムが需要の端境期にあることや、バス事業者様の投資の先送り傾向が続いたことなどが影響し、大幅な減収となりました。

鉄道市場向け製品につきましては、北陸地区向けのICカードシステム関連の納入や、国内及び北米での列車用LED灯具の販売が進んだことにより増収となりました。

自動車市場向け製品につきましては、トラックの生産台数が震災直後の落ち込みから早期に回復したこと、またLED灯具の市場導入を積極的に推進したことなどにより増収となりました。

#### (S&D事業)

当事業の売上高は、前年同期比54.6%増の9億61百万円、営業損失は27百万円（前年同期は1億96百万円の営業損失）と、前年同期に比べ、売上高・営業損失ともに大幅に改善いたしました。

ネオン市場の低迷により、ネオン変圧器関連の販売が大きく落ち込む一方、節電・省エネ意識の高まりを背景とするLED照明市場の急速な拡大が追い風となり、LED電源や蛍光灯型LED灯具の売上が大幅に増加いたしました。

損益面につきましても、増収効果に加え、売価・コストの両面から収益改善に努めたことにより、前年同期に比べ、大幅に改善いたしました。

#### (産業機器事業)

当事業の売上高は、前年同期比13.3%増の27億18百万円、営業利益は1億10百万円（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

PHS通信事業者様の基地局増設により、次世代PHS基地局向け電源の販売が前年を大きく上回りましたほか、バッテリー式フォークリフト用充電器についても堅調に推移いたしました。加えて、連結子会社レシップ電子株式会社が行うプリント基板実装事業についても、震災の影響により自動車用電装品基板の売上は出遅れたものの、産業機器用インバータ基板の大幅な拡大でカバーし、増収となりました。

損益面につきましても、増収効果に加え、主に生産面での効率化と経費削減を強力に推進したことにより、前年に比べ大幅な増益となりました。

## (その他)

当事業の売上高は33百万円、営業利益は2百万円となりました。収益の内容は、レシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は91億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億14百万円減少いたしました。流動資産は67億15百万円と2億2百万円減少いたしました。主な要因は、仕掛品が2億94百万円、原材料及び貯蔵品が1億53百万円、それぞれ増加する一方、受取手形及び売掛金が7億28百万円、現金及び預金が4億84百万円、それぞれ減少したことによるものです。固定資産は24億67百万円と3億12百万円減少いたしました。有形固定資産は15億41百万円と34百万円減少いたしました。無形固定資産は1億11百万円と6百万円減少いたしました。投資その他の資産は8億14百万円と2億71百万円減少いたしました。主な要因は投資有価証券が1億23百万円減少したことによるものです。

当第3四半期末の負債合計は43億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円減少いたしました。流動負債は38億6百万円と3億20百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億47百万円、賞与引当金が98百万円、それぞれ減少する一方、短期借入金が5億40百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億40百万円、それぞれ増加したことによるものです。固定負債は5億55百万円と3億81百万円減少いたしました。主な要因は長期借入金が3億75百万円減少したことによるものです。

当第3四半期末の純資産は48億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円減少いたしました。主な要因は四半期純損失の計上3億7百万円、及び配当金の支払い79百万円、並びに当第3四半期連結累計期間より連結の範囲に含めておりますLECIP INC. の新規連結に伴う利益剰余金減少額44百万円等による利益剰余金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.4%から52.5%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くことが予想されますものの、第4四半期は、輸送機器事業において、バス用ICカードシステム関連の売上が見込まれるほか、産業機器事業においては、次世代PHS基地局向け電源の販売が引き続き好調に推移する見通しであることに加え、物販共用読み取り端末などの納入も予定していることから、平成23年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であるレシップ株式会社は、平成23年4月1日をもって、新設分割の方法による会社分割を行い、同社が営む事業の一部を新設する子会社2社（レシップエスエルピー(株)及びレシップエンジニアリング(株)）に承継し、第1四半期連結会計期間から連結子会社としました。

前連結会計年度において非連結子会社であったLECIP INC. は、重要性が増したことにより当第3四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	953,347	469,156
受取手形及び売掛金	4,115,458	3,387,369
商品及び製品	331,931	352,054
仕掛品	364,907	659,188
原材料及び貯蔵品	686,473	840,434
その他	468,569	1,009,482
貸倒引当金	△1,900	△1,806
流動資産合計	6,918,786	6,715,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,151,352	1,107,280
その他(純額)	425,027	434,130
有形固定資産合計	1,576,380	1,541,410
無形固定資産		
	118,021	111,921
投資その他の資産		
投資有価証券	402,603	279,479
その他	726,842	578,960
貸倒引当金	△44,247	△44,247
投資その他の資産合計	1,085,198	814,192
固定資産合計	2,779,600	2,467,524
資産合計	9,698,386	9,183,405
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,146,009	1,998,412
短期借入金	—	540,000
1年内返済予定の長期借入金	235,975	476,528
未払法人税等	177,042	—
賞与引当金	183,099	84,898
製品保証引当金	53,151	52,410
その他	690,061	653,848
流動負債合計	3,485,339	3,806,098
固定負債		
長期借入金	626,923	251,072
退職給付引当金	14,120	16,080
その他	296,174	288,746
固定負債合計	937,217	555,898
負債合計	4,422,557	4,361,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	719,406
利益剰余金	3,838,438	3,405,984
自己株式	△14,104	△14,197
株主資本合計	5,279,385	4,846,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,035	21,107
為替換算調整勘定	△40,591	△46,538
その他の包括利益累計額合計	△3,555	△25,431
純資産合計	5,275,829	4,821,407
負債純資産合計	9,698,386	9,183,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	8,724,719	7,917,582
売上原価	7,288,425	6,414,462
売上総利益	1,436,294	1,503,119
販売費及び一般管理費	1,818,894	1,894,764
営業損失(△)	△382,599	△391,645
営業外収益		
受取利息	339	32
受取配当金	2,944	3,950
不動産賃貸料	24,131	—
助成金収入	2,679	3,546
輸入関税還付金	6,682	—
作業くず売却益	7,260	8,392
その他	10,543	9,068
営業外収益合計	54,579	24,990
営業外費用		
支払利息	10,288	8,480
債権売却損	584	388
賃貸収入原価	5,591	—
為替差損	9,233	8,882
その他	2,637	623
営業外費用合計	28,334	18,375
経常損失(△)	△356,355	△385,029
特別利益		
固定資産売却益	47,872	—
受取補償金	37,980	—
特別利益合計	85,852	—
特別損失		
固定資産売却損	342	79
固定資産廃棄損	993	245
投資有価証券評価損	43	—
関係会社出資金評価損	—	16,381
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,224	—
特別損失合計	3,604	16,706
税金等調整前四半期純損失(△)	△274,106	△401,735
法人税、住民税及び事業税	5,691	42,739
法人税等調整額	11,268	△136,668
法人税等合計	16,959	△93,928
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△291,066	△307,807
四半期純損失(△)	△291,066	△307,807



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△291,066	△307,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,075	△15,928
為替換算調整勘定	31,341	△5,946
その他の包括利益合計	30,266	△21,875
四半期包括利益	△260,799	△329,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△260,799	△329,682
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・販売市場別に成長の方向性を立案し、事業活動を展開しております。したがって、「輸送機器事業」、「S&D事業」及び「産業機器事業」の3つを報告セグメントとしております。

「輸送機器事業」は、バス・鉄道用システム機器、車載用照明機器などの製造販売を行っております。「S&D事業」は、ネオン変圧器、屋外蛍光灯看板用電子安定器、LED電源などの製造販売を行っております。

「産業機器事業」は、物販用途向け共用読み取り端末、無停電電源装置、バッテリー式フォークリフト用充電器の製造販売、プリント基板の実装であります。「その他」は地代収入等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント				その他 (千円)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S&D事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	5,694,061	621,901	2,399,208	8,715,171	9,548	8,724,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,694,061	621,901	2,399,208	8,715,171	9,548	8,724,719
セグメント利益又は 損失(△)	△122,650	△196,380	6,316	△312,714	825	△311,889

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△312,714
「その他」の区分の利益	825
全社費用(注)	△70,710
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△382,599

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・販売市場別に成長の方向性を立案し、事業活動を展開しております。したがって、「輸送機器事業」、「S&D事業」及び「産業機器事業」の3つを報告セグメントとしております。

「輸送機器事業」は、バス・鉄道用システム機器、車載用照明機器などの製造販売を行っております。「S&D事業」は、ネオン変圧器、屋外蛍光灯看板用電子安定器、LED電源、蛍光灯型LED灯具などの製造販売を行っております。「産業機器事業」は、物販用途向け共用読み取り端末、無停電電源装置、バッテリー式フォークリフト用充電器の製造販売、プリント基板の実装であります。「その他」は地代収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S&D事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	4,204,255	961,455	2,718,383	7,884,095	33,486	7,917,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,204,255	961,455	2,718,383	7,884,095	33,486	7,917,582
セグメント利益又は 損失(△)	△436,121	△27,567	110,747	△352,940	2,549	△350,391

(注) 「その他」の区分は、不動産賃貸事業であります。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△352,940
「その他」の区分の利益	2,549
全社費用(注)	△41,253
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△391,645

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。